

2015 国際教養科 NEWS 7月

国際教養科 1年 高大連携特別授業(7/24)

国際教養科 1年生は、信州大学教育学部 小池浩子先生と徳井厚子先生、現代教育コースの学生の皆さん8名に来校いただき、「高大連携授業」として「異文化理解」の授業を受けました。1年生は初めてということで、今回はトランプを用いて体験的に異文化を実感しました。



最初、カードゲームと聞いて楽しいことをするんだなあと思っていた。1 ラウンド目は、同じグループの人とやりスムーズにゲームが進んだ。でも2ラウンド目、私はグループを移動してゲームをした。そこでグループ内でルールの食い違いがあった。でもその時自分が読んだルールは違ったのかななどと思った。次のラウンドもまたそれぞれルールが違うんだなと気付いた。

このゲームから、ジェスチャーしか通じない中でそれぞれのルールがある中でどうやって互いにやっていくかを学んだ。これを国という規模で考えてみると、育った国ではない国へ行った時、文化やルールが異なっていた場合どのように生活していくのかを考えさせられた。ルールを統一させなければいつまで経っても食い違いが起きたり国同士なら戦争が起きてしまったりすると思った。海外へ行った時、自分の国の文化も相手の文化も尊重したいと思った。

一番感じたことは、皆と同じように「自分が全て正しいと思ってはいけない」ということだ。ゲームの中で、お互いに「自分のルールが正しい」と一方的に意見を押しつけていただけだったが振り返りをしたときに「意見を押しつけて合うだけじゃだめだ」と言っていてその通りだなあと思った。

これから海外の人たちと関わる機会が増えていくと思うので、その時に日本とは違う文化が見られたときに、自分の国の文化を押しつけていくのではなく相手の国の文化も理解しながら関わっていきなさいなと思った。

